

市民文化部

市民相談	V - 1
消費生活行政及び計量行政	V - 2
市民活動	V - 4
住民組織	V - 6
地区市民センター	V - 7
文化振興	V - 11
生涯学習	V - 12
文化会館	V - 13
泗翠庵	V - 14
都市提携	V - 15
多文化共生	V - 17
男女共同参画	V - 18
戸籍・住民記録	V - 20
住居表示整備事業	V - 21
四日市地域総合会館あさけプラザ	V - 22
楠総合支所	V - 25
(公財)四日市市文化まちづくり財団	V - 28

市民相談

市民相談は、市民の市政に対する相談をはじめ、日常生活で起こる各種の問題の相談に応じ、市民と行政のコミュニケーションのパイプとしての役目を果たすことを目的としている。平成 24 年度は年間 3,700 件の相談を受けた。また、専門家による特別相談を（弁護士相談：木曜日、司法書士相談：月曜日、行政書士相談：第 1・3 火曜日、社会保険労務士相談：第 3 水曜日）予約制により実施した。それ以外にも、各機関の協力を得て、公証人による公証相談、行政相談委員による行政相談を実施した。

多重債務問題については、平成 21 年度の 649 件をピークに、平成 22 年 6 月、改正資金行法完全施行による上限金利の引き下げ、また総量規制の導入により減少傾向が続いているが、平成 24 年度は 349 件の相談があり、三重県多重債務者対策協議会の多重債務者相談連携システムを活用して、弁護士・司法書士事務所を紹介した。

● 市政に関する相談（市民相談分）

（平成 24 年度）

部 局	件 数	主 な 内 容
危機管理監	5	防災
政策推進部	5	政策
総務部	8	行政
財政経営部	33	税務
市民文化部	698	戸籍、住民登録、自治会、特別相談等
福祉部	100	介護、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、生活保護等
健康部	51	年金、国民健康保険、心の健康相談等保健所事業
商工農水部	17	商業一般、農林、水産、畜産
環境部	46	悪臭、騒音、清掃、予防衛生等
都市整備部	78	開発許可、道路維持補修、河川、公園、建築
市立病院	5	病院業務一般
市議会	0	議会業務一般
教育委員会	7	学校教育、青少年対策
上下水道局	19	上水道、下水道
消防本部	1	消防業務一般
その他	0	その他業務
合 計	1,073	

● 市政以外の相談

内 容	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
国の所管に関するもの	234	209	209	162	146
県の所管に関するもの	15	29	14	5	6
民事の要素を有するもの	1,828	1,704	1,455	1,306	1,239
家事の要素を有するもの	1,316	1,325	1,222	1,161	1,236
合 計	3,393	3,267	2,900	2,634	2,627

● 特別市民相談

種 別	件 数	主 な 内 容
弁 護 士 相 談	320	家事、民事、その他の法律的な問題についての弁護士による相談
司 法 書 士 相 談	279	多重債務、金銭貸借、登記、相続などの司法書士による相談
行 政 書 士 相 談	28	許認可、遺言・相続・契約書面作成、後見などの行政書士による相談
社会保険労務士相談	29	年金、社会保険、労働問題などの社会保険労務士による相談
公 証 相 談	20	相続、遺言、各種契約などの公証人による相談
行 政 相 談	19	行政の仕事についての苦情や困りごとの相談
合 計	695	

消費生活行政及び計量行政

● 消費生活行政

昭和 47 年 6 月に「四日市市消費者センター」を開設し、市民からの消費生活に関する相談等を迅速に処理するとともに生活情報を提供してきた。平成 17 年度から市民の相談ニーズに合致した対応ができるよう消費生活相談と市民相談を統合した。

平成 24 年度の消費生活相談の件数は 1,312 件（前年度比 44 件減）であった。相談内容では、一般の店舗販売に関する相談が最も多くなっているが、それに次いで、通信販売に関する相談が多くなっている。商品・役務別相談件数では、昨年に続きアダルト系情報サイト等、インターネット・携帯電話等による架空・不当請求に関する相談が 197 件と相変わらず多い。平成 24 年度に特徴的に増加したのは、身に覚えのない健康食品の送りつけに関する相談が 45 件と昨年の 4 倍以上となっている。また、ファンド型投資商品に関する相談も 22 件寄せられており、中には被害金額が高額な事例が 5 件発生している。年代別では、全体の相談件数が減少する中、70 歳以上の高齢者の相談件数の増加が目立っており、60 歳代の相談件数と合わせると全体の約 34%を占めている。

平成 24 年度の「消費生活出前講座」や「消費生活ワンポイント講座」の啓発事業は、計 25 回開催し消費者被害の未然防止に努めている。また、夏休みには小学生を対象に「ゲームでチャレンジ！めざせ！お子図解マスター」と題した子ども教室を開催した。それ以外にも、『広報よっかいち』に特集記事「悪質商法にご用心～クーリングオフ特集～」や「消費生活トラブル情報」を掲載したほか、四日市消費者協会に委託して『みんなの消費生活展』や『消費者講座』を開催するなど、消費者への啓発を行った。

● 年度別消費者センター相談件数

			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
相談件数 合計			1,653	1,407	1,376	1,356	1,312	
方法	文書相談		1	0	0	0	0	
	来所相談		251	229	244	227	219	
	電話相談		1,402	1,178	1,132	1,129	1,093	
種別	苦情	一般	店舗	357	398	399	359	376
		特殊販売	訪問販売	145	131	116	147	114
			通信販売	633	388	354	380	335
			マルチ商法	26	23	12	16	14
			電話勧誘	91	85	123	125	162
			ネットタイプオプション	2	3	4	4	1
			その他	18	10	4	6	4
			不明	88	110	145	137	122
		計	1,003	750	758	815	752	
	苦情 合計		1,360	1,148	1,157	1,174	1,128	
	問い合わせ	一般	店舗	22	13	7	4	7
		特殊販売	訪問販売	4	4	0	1	0
			通信販売	5	1	2	0	4
			マルチ商法	0	0	0	0	0
			電話勧誘	3	0	0	0	0
ネットタイプオプション			0	0	0	0	0	
その他			0	0	0	0	1	
不明			259	241	210	177	172	
計		271	246	212	178	177		
問い合わせ 合計		322	293	259	219	184		
性別 相談者)	男		602	577	565	578	542	
	女		979	773	747	720	737	
	団体		72	58	64	58	33	
地域別 相談者)	市内		1,628	1,388	1,325	1,312	1,281	
	市外		25	19	51	44	31	
	不明		0	0	0	0	0	

● 計量行政

昭和40年4月に計量法による特定市の指定を受け、計量器の定期検査・立入検査・量目検査等を実施している。平成24年度には、539戸の検査戸数（検査台数1,511台）があり、そのうち民間計量士による代検査は、322戸の検査戸数（検査台数1178台）にのぼっている。

また、事業者に対し、適正な計量の実施を確保すべく監視指導を徹底するとともに、消費者保護の立場から一般消費者参加の試買量目調査を実施し、消費者に計量に対する認識を高めてもらうことにより、計量思想の普及啓発に努めている。

市民活動

「市民活動」の活性化に努め、市民が主役のまちづくりを推進していく。

● 個性あるまちづくり支援事業

市民による先駆的で夢のある自主的な公益活動を支援する制度。（平成 16 年度～）

（平成 24 年度）

種 別	助成限度額	補 助 率	応募数	実績数
立ち上げ期	20 万円	9/10	12 団体	12 団体
中級編	50 万円	4/5	16 団体	16 団体
上級編	30 万円	3/5	14 団体	14 団体
		計	42 団体	42 団体

【採択した事業の主な内容】

生活環境、自然環境、歴史文化、伝統行事、福祉・子育て・健康づくり、まちづくり など

● まちづくり協働委員会

市民、市民活動団体、行政が、対等な立場で新しい公共の実現に向けた取り組みを行い、市民協働を推進することを目的として、地域住民と行政とのルールや枠組みのあり方などを検討している。

委員 地縁団体から 3 名、NPO 団体から 3 名

行政から 2 名

計 8 名

平成 24 年度のまとめ 市民協働の推進に向けての提案

	実施が望まれること
理解を高める	① 「協働」を地区で説明 役員会や総会、地域イベントなど、あらゆる機会です「協働」の必要性について説明を行う。
	② 団体連絡会議の開催 各種地縁団体の連合会の会議を定期的で開催して、地区の各種団体の「協働」への参画促進などについて情報交換を行う。
	③ まちづくり事例集の作成 協働によって地域でできること、NPO が地域と連携できることなどを盛り込んだ事例集を作成し、「協働」の理解の向上を図る。
場づくり	④ 地区での協議 地域課題の解決に向け、課題ごとに様々な主体が協議できる場を設けていく。各種地縁団体、行政、企業、NPO 等が参画し、それぞれができること（役割）を検討していく場づくりを行う。（可能な地区からモデル的に実施）
	⑤ 協働事業委託 地域課題の解決に向けた提案を受け、役割分担を協議し、必要なものについて業務委託を行う。
人づくり	⑥ 地域活動の担い手発掘 職員と地域マネージャーが日常的に地域活動を通して、新たな地域の担い手となる人材を発掘するよう情報収集に努める。
	⑦ マイスター養成講座の活用 地域の担い手を育成するため、まちづくりに関連した内容の研修を展開していく。

● なやプラザ

自主的な市民活動を促進するための市民活動支援施設であり、指定管理者である市民活動団体が運営している。なやプラザには、市内の市民活動や学習グループなどの活動に利用できる会議室や音楽室の貸出しを行う「なや学習センター」と、市民活動等に関する相談や情報提供等を行う「市民活動センター」がある。

- (1)所在地 四日市市蔵町 4-17 (旧納屋小学校)
- (2)延床面積 1563.28 m²
- (3)休館日 12月29日～1月3日、毎月第2月曜日 (祝日にあたる場合はその翌日)
- (4)開館時間 午前9時～午後10時

利用者数

(単位：人)

年 度	H19	H20	H21	H22	H23	H24
なや学習センター	44,324	44,599	45,261	46,741	50,613	50,195
市民活動センター	8,225	8,244	7,085	4,706	5,020	4,463
合 計	52,549	52,843	52,346	51,447	55,633	54,658

● 地域防犯活動推進事業

1. 地域防犯活動支援事業費補助金

市民が安全で安心して暮らすことができる地域社会に向け、市民団体が行う自主防犯活動に必要なベストや帽子、誘導灯などの購入に対して支援している。

(平成24年度)

助成限度額	補 助 率	支援団体数
10万円	9/10	29団体

2. 地域防犯活動普及啓発

市民主導による防犯活動の普及を図るため、これから防犯活動を始めようとする団体を対象に、自主防犯活動の進め方の講義や実地指導を行っている。

住民組織

市は各地区連合自治会と広報連絡(各種広報文書の組回覧、各種啓発ポスターの掲示)等の事務について委託契約を結び、市政への協力を求めている。

● 自治会の組織(平成 24 年 4 月 1 日現在)

- ・町自治会数 714
- ・町自治会組数 7,738
- ・地区連合自治会数 28
- ・地区連合ブロック数 6(ブロック代表 各 1 名)
- ・自治会加入世帯数 102,488
- ・自治会加入率 83.7%

● 委託料

(平成 24 年度)

区 分	単 位	委託料 (年額)
地 区 連 合 自 治 会 長	1 人	73,600 円
地区連合会自治会長調査研究費	1 人	10,000 円
町 自 治 会 長	1 人	55,600 円
町 数 割	1 町につき	2,080 円
世 帯 数 割	1 世帯につき	116 円
自治会長研修会費	1 人	2,000 円
ブ ロ ッ ク 調 整 会 議 費		582,400 円

● 連絡員制度

市長が委嘱した市連絡員(平成 24 年 4 月現在 408 名)は、週 1 回以上市役所、楠総合支所または各地区市民センターに登庁し、市から出される各種文書類の配布を行っている。

地区市民センター

住民の自主的な地域社会づくりを目指し、活発な地域活動を醸成するための施策として、昭和 53・54 年度に全市 22 地区(本庁管内を除く)のうち 9 地区を地区市民センターとして試行し、施設整備等を進めてきた。

このような背景のなか、広報広聴活動や社会教育活動を通じて地域社会づくりに対する市民意識の高揚や地域活動の振興に努めてきた結果、市民の間で次第にその気運が高まってきた。こうした状況に対応するため、昭和 55 年度から全地区(本庁管内を除く)を地区市民センターに移行させ、さらに昭和 56 年度には、本庁管内についても中部地区市民センターを発足させ、市民と行政が一体となった地域社会づくりを推進してきている。

● 地区市民センターの概要

従来の出張所と公民館を施設的、機能的に一体化し、住民と行政の接点、あるいは住民相互の出会いの場として地域社会づくりの拠点となるよう位置づけている。また、センターの業務は、①地域振興業務 ②公民館業務 ③窓口業務の 3 つからなっており、地域行政を推進する拠点として地域課題の解決や各種講座など自主事業を実施している。

センターが発足して四半世紀が経過するなかで、センターを拠点とするグループ・サークル活動も盛んになり、各種団体の活動や団体相互が連携した地域ぐるみの活動も定着している。地域住民の発想による活動が地域づくりの原点であり、平成 15 年度から各地区市民センター内に団体事務局を設置し、「地域社会づくり総合事業費補助金」による財政面での支援を行っている。また、平成 16 年度から民間で培われたノウハウを活かしたまちづくりが行えるよう地域マネージャーの配置を開始した。平成 18 年度には全地区に配置が完了し、市民主体のまちづくりの推進に努めている。

● 地区市民センター施設状況

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
富洲原地区 市民センター (365-1136)	富洲原町 31-46	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 56.10.20	RC造 2F	m ² 2,025.32	m ² 672.50	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
富田地区 市民センター (365-1141)	富田一丁目 24-47	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 41. 3.31 増改築 S. 57. 3.31	RC造 2F	1,070.61	1,111.52	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
羽津地区 市民センター (331-4465)	大宮町 13-12	設置 S. 54. 4. 1 建設(竣工) S. 54. 3.31	RC造 3F	1,120.89	667.23	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
常磐地区 市民センター (351-1751)	城西町 8-11	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 57. 3.31 増改築 H. 4. 3.30	RC造 2F	2,637.54	772.32	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
日永地区 市民センター (345-3197)	日永西 三丁目 2-18	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 55. 3.31	RC造 2F	m ² 2,383.65	m ² 656.84	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
四郷地区 市民センター (321-2021)	室山町 645-1	設置 S. 54. 4. 1 建設(竣工) S. 54. 3.31	RC造 2F	3,034.92	798.39	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
内部地区 市民センター (345-3951)	采女町 857-1	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 47.11.6 増改築 S. 58. 3.31	RC造 2F	2,014.19	738.94	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
塩浜地区 市民センター (345-2403)	塩浜本町 一丁目 1-2	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 58.10.14	RC造 2F	1,323.76	688.66	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
小山田地区 市民センター (328-1001)	山田町 1373-3	設置 S. 53. 4. 1 建設(竣工) S. 55. 3.31	RC造 2F	7,486.34	537.19	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
川島地区 市民センター (321-3020)	川島新町 1	設置 S. 54. 4. 1 建設(竣工) S. 61. 9. 3	RC造 2F	2,439.61	653.00	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
神前地区 市民センター (326-2751)	高角町 2977	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 56. 3.31	RC造 2F	2,776.62	587.01	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
桜地区 市民センター (326-2051)	桜町 1399	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 60. 9.11	RC造 2F	4,451.36	666.00	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
三重地区 市民センター (331-3276)	東坂部町 71-2	設置 S. 53. 4. 1 建設(竣工) S. 49. 3.30 増改築 H 元. 3.23	RC造 2F	3,087.90	834.55	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室、ホール
県地区 市民センター (326-0001)	赤水町 957	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 59. 9. 3	RC造 2F	1,569.20	588.12	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
八郷地区 市民センター (365-0259)	千代田町 267-1	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 56. 3.31	RC造 2F	m ² 2,425.00	m ² 669.44	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
下野地区 市民センター (337-0001)	朝明町 914-3	設置 S. 53. 4. 1 建設(竣工) S. 52. 2.14 増改築 H 4. 3.30	RC造 2F	1,616.86	631.19	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
大矢知地区 市民センター (364-8704)	下さざらい 町 1-3	設置 S. 54. 4. 1 建設(竣工) S. 63. 2.12	RC造 2F	2,475.83	685.44	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
河原田地区 市民センター (345-5020)	河原田町 159	設置 S. 53. 4. 1 建設(竣工) S. 51. 3.31 増改築 H 2. 3.31	RC造 2F	1,519.39	478.50	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
水沢地区 市民センター (329-2001)	水沢町 2109-2	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 58.11.4	RC造 2F	1,634.20	569.69	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
保々地区 市民センター (339-0001)	市場町 3039-5	設置 S. 54. 4. 1 建設(竣工) S. 53. 3.21 増築 H 6. 7.22	RC造 2F	2,015.65	647.67	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
海蔵地区 市民センター (331-3284)	大字 東阿倉川 622-1	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 59. 6.5	RC造 2F	2,956.75	658.69	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
橋北地区 市民センター (331-3787)	新浜町 14-11	設置 S. 55. 4. 1 建設(竣工) S. 54. 6.12	RC造 2F	1,381.59	567.81	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
中部地区 市民センター (354-0336)	西浦一丁目 8-3	設置 S. 56. 4. 1 建設(竣工) S. 54. 3.31	RC造 4F	971.45	2,386.73	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室、音楽室 美術室、茶室

● 地区市民センターの事業

23地区市民センターにおいて、それぞれの地域の学習ニーズに対応した学級・講座の開催、並びに地域社会づくり事業活動への支援をおこなった。

平成24年度 地区市民センター事業別活動状況

分野	回数	延人数
家庭教育・子育て	146	4,488
人権・同和	15	600
福祉	57	3,609
趣味・生活技術	202	2,802
文化活動	42	1,563
スポーツ・レクリエーション	19	560
男女共同参画	31	718
その他	39	993
合計	551	15,333

平成24年度 地区市民センター施設利用状況

利用種別	回数	延人数
サークル活動	18,019	190,763
社会教育関係団体活動	4,083	86,226
その他団体活動	4,840	93,892
センター事業	700	19,018
公用	1,926	51,186
合計	29,568	441,085

● 地域社会づくり総合事業費補助金

地域住民自らの手によるまちづくりを進めることにより、豊かな地域社会となるよう、地域団体が行う地域の活動に対して支援している。
(平成24年度)

対象事業名	補助率	実施内容	対象数
地域社会づくりのための総合的的事业	9/10	伝統文化行事、文化祭、運動会、防犯・防災活動環境美化、高齢者見守り、青少年育成 など	306事業
地域団体事務局運営事業	10/10	地区の団体事務局運営にかかる費用	25団体

文化振興

人びとが心にゆとりを持ち、また潤いのある生活をおくるために、魅力的な文化環境を整備する必要がある。

その中で、文化行政に対する市民要望に応えるため、市民自らの創作活動の場の提供や芸術文化鑑賞機会の充実を図るとともに、市民の文化活動への支援等を行い、芸術・文化活動を振興し、地域文化の創造に努めている。

●文化の振興（平成24年度実施状況）

- ・文化行政推進事業……本市の文化行政を推進することを目的に、文化振興に関する基本計画（文化振興ビジョン）に基づく四日市市文化振興実施計画を具体的に進める。

平成17年に策定した文化振興ビジョンについて文化行政を取り巻く環境の変化への対応と平成23年から施行された総合計画との整合を図るため、「四日市市文化振興審議会」において審議を行い平成23年度末に答申を受けビジョンの更新を行った。

四日市市文化振興審議会 2回開催

- ・文化の駅推進事業……市民が、音楽、ダンス、写真、絵画といった文化活動の発表や体験、また、それらを通じた交流をすることができる拠点をまちのさまざまな場所に「文化の駅」として創出することで、元気で魅力的なまちづくりに資することを目的とする。

○文化の駅メインステーション『文化の諏訪駅』（平成21年12月18日オープン）

民間の団体が中心市街地に空き店舗を確保し、美術展示や音楽公演といった市民の文化活動の場を提供したり、自主企画した文化事業を実施したりする場の管理・運営事業に対して補助を行った。

○文化の駅メインステーション活用事業

「文化の駅メインステーション」で美術展示や音楽公演といった文化事業を自主的に企画・実施する団体を公募し、その経費の一部に対して補助を行った。

文化の駅メインステーション活用事業補助金交付団体 3件

○文化の駅サテライトステーション事業

既存店舗の一部を文化活動の場の提供や文化事業を行う場「文化の駅サテライトステーション」と位置付け、文化事業による中心市街地の活性化を図るため、自主企画した文化事業に対して補助を行った。

文化の駅サテライトステーション事業補助金交付団体 2件

○文化の駅ローカルステーション事業

市内にある店舗や金融機関などの協力を得て、市民が文化活動の展示や発表などに手軽に利用できる場を提供し、市民が文化に触れる機会を創出することにより、地域における文化活動を支援する。

文化の駅ローカルステーション登録件数 18店舗

- ・四日市市文化振興基金……昭和60年4月1日付で創設、平成25年3月31日現在の積立額

203,188,809円

基金を活用し、市民主体の文化活動に対し助成を行う。

○市民による文化活動への助成 全市的事業 1件

地区事業 8件

○民間の優れた文化施設を活用した事業 3件

- ・平成24年度四日市市文化功労者表彰…… 〈俳句分野〉 稲垣 武夫 さん
 〈彫刻分野〉 鈴木 次男 さん
 〈伝統芸能分野〉 相馬 政吉さん
 〈音楽分野〉 竹内 宜秀さん
- ・四日市市美術展覧会……より市民に親しまれる美術展となるよう、運営委員会、審査会の見直しを図り、第40回記念となる公募の美術展とこれまでの美術展の歩みをふりかえる回顧展を開催するための準備活動を行った。
 四日市市美術展覧会運営委員会 3回開催
- ・第62回四日市市民芸術文化祭……舞台公募事業、各種ホール催事・展示発表等年間を通じて21事業を開催し、およそ38,000人の参加があった。

・第1回全国ファミリー音楽コンクールinよっかいちの開催

都市の活力の両輪である文化と産業が互いに響きあう、魅力と活気あふれたまちを創るため、音楽が持つ力で人々を感動させ、共感しあう音楽コンクールを開催し、四日市の文化力を全国へ発信する。

出場資格：3人以上の家族によるアンサンブル

会期：平成24年10月21日(日)

会場：四日市市文化会館第1ホール

応募団体数：93組 本選出場団体数：16組 観客数：1,570人



生涯学習

住民自らが各種の活動に参加しながら連帯意識を醸成し、進んで地域社会づくりに参画する気風を育むための生涯学習をめざして、23 地区市民センターを中心に住民活動を推進している。また、市民の学習意欲に応じて市民大学一般クラス・熟年クラスを開設するとともに、職員が出向いて市政情報を提供する「いきいき出前講座」を開設し、市民が気軽に利用できる学習機会を提供している。さらに学習情報を検索できるホームページの開設や学習情報誌の発行も行っている。

● 平成24年度主要事業

(1) 生涯学習の推進

・生涯学習いきいき出前講座

行政全般にわたる講座メニューの中から、市民の皆さんが聞いてみたい講座をリクエストし、指定された日時・場所に担当課の職員が出向いて情報を提供する制度で、593 件の利用があった。

・市民大学

[一般クラス]

市民の幅広い学習要求に応えるとともに、地域の学習活動の振興を図るため、5コースを開催した。公募による市民団体が企画運営するコースを3コース、大学機関に委託するコースを2コース開講した。(受講者 386人)

○Aコース 市民団体企画運営「郷土文学探訪ゼミナール【三重の児童文学】」

～なぜ、三重県内に多様な児童文学作家が誕生したのか、その秘話を紹介～

○Bコース 市民団体企画運営「絆 ～いのちの授業～

- Cコース 市民団体企画運営「豊かな経験と知恵」 ～次世代に伝えたいこと～
- Dコース 四日市大学企画運営「災害から命を守る、自助・共助・公助」
～東日本大震災が教えてくれるもの～
- Eコース 三重大学四日市フロント企画運営「21世紀ゼミナール」
～グローバル化の中での日本経済の課題～

[熟年クラス]

市内在住の満60歳以上の方々を対象として、生きがいづくりや仲間づくり、社会参加への意欲を高めるため、1年目の「教養課程」と2年目の「専攻課程」を開設し、それぞれ午前中の講義と午後のクラブ活動のほか、市内現地学習・音楽鑑賞会と交流会・文化祭等の行事全23回のカリキュラムを開催した。

(受講者「教養課程」94人、「専攻課程」62人)

文化会館

市民の文化、教育、福祉等の増進に資するため、市制施行80周年記念事業として、昭和57年8月1日に開館し、市民の文化活動の場としての貸館を行うとともに、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供してきた。

会館の運営については、市民文化の普及・振興の拠点として平成18年4月から指定管理者制度を導入し、(公財)四日市市文化まちづくり財団が指定管理者となって管理運営を行っている。

市民による文化活動の支援事業を充実するなど、市民とともにつくる市民のための文化会館として、施設管理と自主事業について取り組みを進めている。



● 施設概要

- ・所在地 安島二丁目5-3
- ・総事業費 48億円
- ・敷地面積 20,681m²
- ・延床面積 13,883m² (第1ホール棟 6,343m²、第2ホール棟 2,767m²
会議管理棟 2,298m² 美術展示棟 2,128m² エントランスホール347m²)
- ・建築面積 8,133m²
- ・高さ 27.6m(最高第1ホール上部)
- ・第1ホール 収容人数 1,786人、舞台：間口18m、高さ9m、奥行き18m
- ・第2ホール 収容人数 609人、舞台：間口15m、高さ7.5m、奥行き14m
- ・第3ホール(会議用) 収容人数300人
- ・第4ホール(会議・展示用) 収容人数350人
- ・展示室 第1展示室、第3展示室、第4展示室、常設展示室
- ・会議室 第1会議室、第2会議室、第3会議室、和室会議室
- ・リハーサル室 第1リハーサル室、第2リハーサル室
- ・練習室 第1練習室、第2練習室、第3練習室

- ・その他 レストラン(110席)、駐車場(約400台)、会館事務室、応接室、防災センター

● 文化会館利用状況 (24年度)

- ・ 日数利用率(各施設の使用日数を開館日数で割った平均利用率) ・ ・ ・ ・ ・ 87.7%
- ・ 区分利用率(1日を午前・午後・夜間の3区分に分けた区分使用数を開館区分数で割った率)
 ・ ・ ・ ・ ・ 67.4%
- ・ 来館者数 ・ ・ ・ ・ ・ 480,866人

泗 翠 庵

茶道は、日本の伝統文化を代表する総合芸術として広く親しまれている。

当施設は、平成6年7月6日に開館し、本市の公共茶室として茶会はもとより、日本間を利用した各種催しに使用されている。また、伝統文化の発展・向上に加え、生活に潤いと心の豊かさを求める時代のニーズに応える施設として、広く市民に利用されるとともに、国際交流に資する施設としても活用されている。平成18年4月からは、文化会館と併せての指定管理制度を導入し、施設の貸館の他にも茶道に関する諸講座を行うなど事業の充実を図っている。

● 施設概要

- 所在地 鶉の森一丁目13-17
- 総事業費 約2億円(備品購入費などを含む)
- 敷地面積 1,407.0m²
- 延床面積 267.8m²



● 立礼席

- 営業時間 午前10時～午後4時
- 休業日 毎週月曜日(ただし、祝祭日のときはその翌日)
12月28日～1月4日
- 料金 一服 400円(お菓子付・税込)

● 来庵者の状況

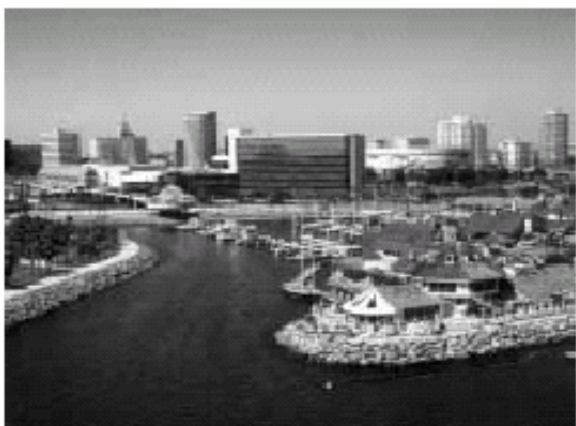
年度	開庵日	茶室	立礼席	見学者	合計
平成22年度	308日	3,838人	7,085人	1,466人	12,389人
平成23年度	306日	3,951人	7,524人	1,417人	12,892人
平成24年度	306日	3,397人	7,635人	1,497人	12,529人

都市提携

● 米国ロングビーチ市(姉妹都市)

1963(昭和38)年10月7日、米国カリフォルニア州ロングビーチ市との間に姉妹都市提携を結ぶ。同市は、ロサンゼルス市の南約35kmに位置し、自然の立地条件に恵まれ、良港をもち、古くは、漁業中心に発達したが、大油田の発見とともに一躍石油精製などの工業都市へと発展した。

その後、航空機製造などをはじめとする重工業が市の代表的な産業となり、今日では、全米を代表する港湾物流をはじめ商業や観光など多種多様な産業がある。およそ10kmにもわたる美しい砂浜と、クイーンメリー号、インディカー・シリーズ、そして太平洋水族館でも有名な太平洋に面した、美しく、発展性に富んだ国際港湾都市である。



人 口	約47万人
面 積	129.5 k m ²
気 温	最高 28.3℃ 最低 7.8℃
時 差	-17 時間 (夏期は-16 時間)

同市とは、交換学生(高校生)と教師の相互派遣をはじめ、英語指導員の市内小中学校への派遣、地球環境塾など市民レベルでの交流を深めており、さらには四日市看護医療大学とカリフォルニア州立大学ロングビーチ校との交流にまで発展している。

なお、平成25年には、姉妹都市提携50周年を迎える。



〈平成24年度の交流事業〉

- (1) 第25回ロングビーチ市交換学生・教師派遣 (7.22~8.10)
- (2) 地球環境塾への学生・教師受け入れ (7.23~7.31)
- (3) 外務省事業「キズナ強化プロジェクト」参加のロングビーチ市高校生受け入れ (7.16~7.18)
- (4) 姉妹都市提携50周年記念事業についての事前協議 (2.10~2.14)
- (5) 英語指導員7人招致

● 中国・天津市(友好都市)

1980(昭和 55)年 10 月 28 日、天津市との間に友好都市提携を結ぶ。

同市は北京、上海、重慶とならぶ中央直轄市(省と同格)で、北京の南東約 120 km、華北平原の東北部に位置している。古くは、名も無い一漁村であったが、13 世紀末に元朝が北京に都を定めてから、南北物資の集散地として発展してきた。

また、天津とは、天子の渡し場という意味で、北京の海の玄関口としても栄えてきた。

現在では、国際貿易港・天津新港や鉄道幹線の接点にあるなど、水陸運送の重要拠点にあり、また経済技術開発区への外国企業の進出が目覚ましく、食品・繊維・製紙などの軽工業に加え、鉄鋼・造船・自動車などの重工業、大港油田に関連した石油化学工業などを中心に中国北方最大の国際港湾工業都市として大きく発展している。



人	口	約 1,228 万人
面	積	11,760 km ²
気	温	最高 31.0℃ 最低 -7.0℃
時	差	-1 時間

同市との交流は、公式訪問団相互派遣、各種専門団の往来など、文化・教育・経済・貿易・環境保護・科学技術および都市建設などの分野において幅広く進められており、友好関係の推進を図っている。

また、平成 24 年度は、下記のとおり交流事業を開催した。

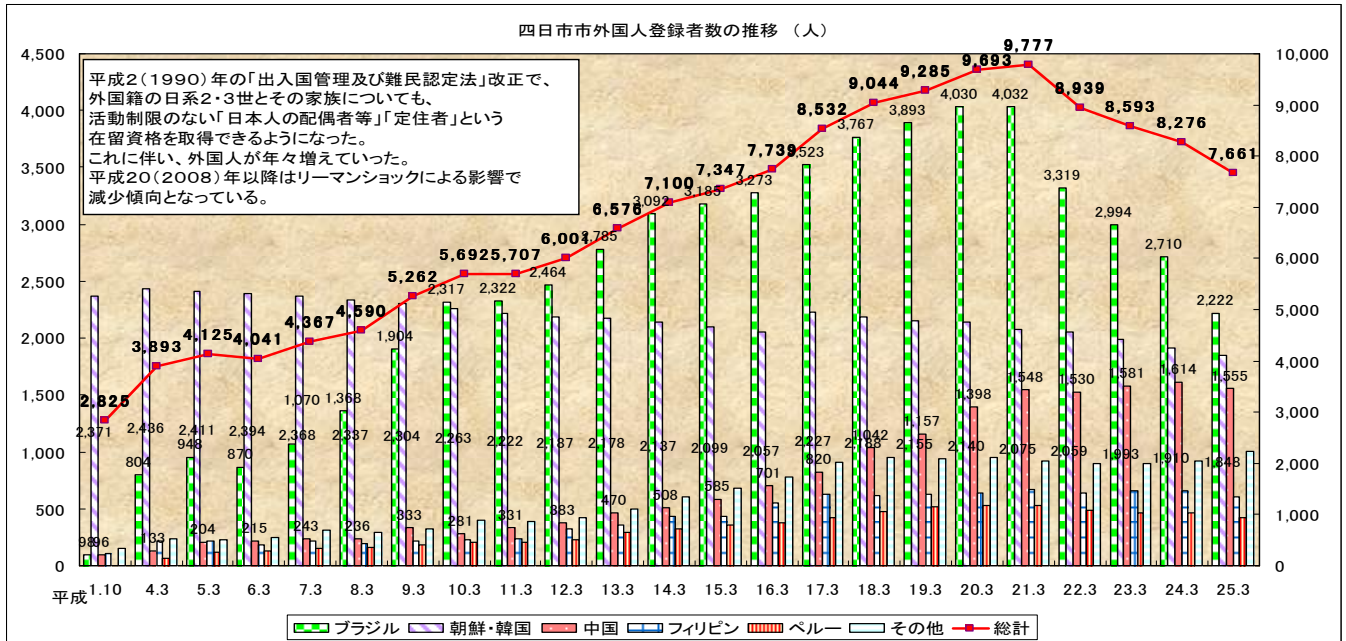
〈平成 24 年度の交流事業〉

- (1) 地球環境塾への学生・教師受け入れ (7.23~7.31)
- (2) 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会への合同参加 (8.16~8.21)
- (3) 第 2 回「中国・天津国際友好都市円卓会議」出席 (9.9~9.11)
- (4) 天津市環境研修員受け入れ (11.4~11.17)
- (5) 四日市・天津販路開拓ツアー (3.15~3.24)

多文化共生

平成25年3月31日現在、本市には56カ国7,661人の外国人市民が居住しており、市人口の約2.5%を占めている。

なかでも笹川地区(笹川1～9丁目)には地域人口の約15%に当たる1,576人の外国人が生活しており、「日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくり」に向けた取り組みを進めている。



- 母語対応 (ポルトガル語・スペイン語)
 - ・ポルトガル語・スペイン語対応職員の配置 (本庁・四郷地区市民センターのほか、市立の保育園・幼稚園・小学校・中学校)
 - ・日常生活に関連の深い文書や通知 (生活ガイドブック、ゴミ分別表、申請書類)などを順次翻訳
- 外国人市民への情報伝達、啓発 (ポルトガル語・スペイン語など)
 - ・「外国人市民向け生活オリエンテーション」を開設し、転入時に各種制度や生活ルールを説明
 - ・市広報のポルトガル語版発行、FMよっかいちでの市政情報番組、四郷地区市民センター発行の広報「お知らせY o g o u」のポルトガル語版・スペイン語版など
- 日本語習得の支援
 - ・ボランティア日本語教室 (6団体)の開催・支援、日本語ボランティア養成講座の開催・協力
- 四日市市国際共生サロンの開設
 - ・地域と連携した多文化共生の拠点施設として、日本語教室、言葉や文化習慣を理解するための講座、多文化共生に係る情報提供と行政等への窓口案内を実施
- 多文化共生モデル地区事業
 - ・外国人市民が集住する笹川地区において、実態を把握するために戸別訪問し、住民同士の橋渡し役を担う多文化共生モデル地区担当コーディネーターを配置
 - ・外国人市民の地域活動への参画を促進するため、共助の大切さを理解する防災セミナーや普段から顔の見える関係をつくるための交流事業などを開催
- 推進体制
 - ・四日市市多文化共生推進本部 (庁内組織 本部長：市長)、笹川地区多文化共生推進会議 (地域の自治会、UR、行政関係機関などで構成)など
 - ・外国人集住都市会議 (日系南米人を中心とする外国人住民が多数居住する27市町で構成。国・県・経済界等への政策提言・要望や施策情報などの交換を行う)

男女共同参画

四日市市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな取り組みを実施している。

男女共同参画プランよっかいち実施計画の進捗管理を行い、四日市市男女共同参画審議会において審議・評価をいただくとともに、四日市市配偶者等からの暴力（DV）防止基本計画を策定した。

男女共同参画センターでは、男女共同参画社会を目指す市民活動の拠点として、女性問題の解決や女性のエンパワーメントの促進に加え、男性や子ども、また再就職を希望する女性についても参加しやすい事業を開催した。市民や市民グループとの協働に積極的に取り組み、性別にとらわれることなく一人ひとりが自分らしく生きる社会をめざすための施策の推進と事業を行っている。

● 平成24年度事業

仕事の柱	事業名	事業内容
I 男女共同参画施策に関する事業	①四日市市男女共同参画審議会	男女共同参画プランよっかいち実施計画の進捗状況について、審議・評価をいただいた。また、四日市市配偶者等からの暴力（DV）防止基本計画策定の審議を行った。
	②男女共同参画人材リスト事業	政策決定等の場での男女比の是正をはかるため、審議会等の女性委員の登用率を上げることを目的として作成した女性人材リストを人事課と情報を共有し、庁内での活用促進に努めた。（平成25年3月末現在登録者147名） また、登録者を対象に地域での男女共同参画を推進する意義について考える研修会を開催した。（1回）
II 学習機会の提供および人材養成に関する事業	①さんかくカレッジ	女性のエンパワーメントおよび男女共同参画社会を推進するための啓発講座等を行った。 ・「親子 お片づけ教室」3回 ・「子育てパパになろう！」3回 ・「ヘルサイズのはら」5回 ・「みんなでクッキング 世界の料理を楽しもう」3回 ・「お父さんも家事を楽しみませんか？」4回 ・「はじめての台所」3回 ・「35歳からの、健康応援講座」3回
	②情報収集提供事業	男女共同参画センターの情報コーナーの書籍・雑誌などの充実を図った。また、ホームページや情報紙はもりあによる情報発信を定期的実施した。
	③就職を希望する女性への支援事業	三重県と共催で、就職を考えている女性を対象に「女性のための 資格の取り方活かし方」（1回）を開催し、また母子家庭等の女性を対象に「母子家庭等の女性のための就職準備セミナー」（1回）を開催した。

	④三重県内男女共同参画連携映画祭	男女共同参画週間にあわせ、県内男女共同参画センター5館と19市町が連携して映画会を開催。本市は「レオニー」を四日市市文化会館で上映した。		
	⑥こどもさんかくカレッジ	子どもや子育て世代の方々に、はもりあ四日市を知っていただくとともに、寸劇等のちょこっとさんかく教室を通じて男女共同参画についての興味と知識を得てもらうことを目的に小学生向けの講座を実施した。 ・「伝統工芸にチャレンジ&ちょこっとさんかく教室」(1回) ・「親子料理教室」(1回)		
Ⅲ 男女共同参画を推進する市民グループのネットワーク事業	①市民協働事業 「はもりあフェスタ」	市民協働の観点から事業の企画・運営を市民グループ等で構成する企画運営委員会で行い、「もっと身近に もっとひろがる 共同参画」と題して、子育て・介護・政治の現場からの声をもとにした講演会、市民活動グループによるワークショップ、活動展示、起業を応援するチャレンジショップ等を開催した。		
	②登録グループのつどい	登録グループの活動紹介、はもりあ四日市の事業についての意見交換を実施した。(2回)		
Ⅳ 相談事業	①法律相談	女性相談員による相談の中で、特に専門性の必要なケースについて弁護士による法律相談を実施した。(12回35人)		
	②臨床心理士相談	心に傷を負った相談者の心のケアを行うため、臨床心理士による心理相談を実施した。(22回34人)		
	③デートDV防止講座	恋人間の暴力について、小学生から大学生、教職員等を対象に、受講者の年代に合わせた内容で講座を実施した。(小学校21回、中学校2回、教職員1回)		
	④DV防止講座	「DV」とはどんなことなのか、私たちがDV被害者にできる支援は何かを学ぶ講座を開催した。		
	⑤女性のための自己尊重講座	ありのままの自分を受け入れ、自分を認めるための講座を開催した。(3回)		
	⑥相談室における相談件数			
	・内容別			
DV	夫婦関係	親子・家庭親族	生き方	別れた夫・恋人
2,438	749	164	116	97
暮らし	こころ	人間関係	仕事上の問題	からだ
80	32	30	13	4
性・性的被害	保護・更正	その他		
2	0	38	合計	
			3,763	

戸籍・住民記録

1. 戸籍届出件数の推移

(単位：件)

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
出生	3,776	3,744	3,553	3,843	3,664	3,684	3,677	3,654	3,538	3,600
死亡	2,573	2,662	2,965	2,740	2,891	2,900	2,967	3,198	3,381	3,184
婚姻	3,383	3,197	3,296	3,382	3,440	3,485	3,435	3,279	3,161	3,242
離婚	922	868	946	862	870	853	807	876	826	851

2. 人口・世帯数の推移

*各年度3月31日現在

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
世帯数	112,279	118,183	120,273	122,284	124,587	126,231	127,082	128,253	129,102	130,012
人口	296,959	309,648	310,710	311,904	313,495	313,963	313,890	314,162	313,683	312,856
内訳	男	146,237	152,737	153,433	154,378	155,604	156,069	155,998	145,618	155,954
	女	150,722	156,911	157,277	157,526	157,891	157,894	157,892	149,801	157,729

3. 外国人登録人口の推移

*各年度3月31日現在

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
ブラジル	3,273	3,523	3,767	3,909	4,030	4,032	3,319	2,994	2,710	2,222
韓国・朝鮮	2,057	2,227	2,188	2,157	2,140	2,075	2,059	1,993	1,910	1,848
中国	701	820	1,042	1,191	1,398	1,548	1,530	1,581	1,614	1,555
フィリピン	555	630	612	632	640	671	640	665	657	611
ペルー	379	427	479	519	535	532	491	465	464	420
タイ	178	197	202	226	228	206	199	191	196	191
ボリビア	88	154	167	180	182	187	169	145	160	160
ベトナム	152	152	140	112	109	103	99	113	139	149
米国	56	64	62	64	58	70	64	60	49	42
スリランカ	29	45	60	48	40	37	32	42	35	34
その他	271	293	325	325	333	316	337	344	342	429
合計	7,739	8,532	9,044	9,363	9,693	9,777	8,939	8,593	8,276	7,661

その他の数字については下記サイトにある「市民課年報」を参照のこと

(<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/home/nenpo.html>)

住居表示整備事業

昭和 37 年に施行された「住居表示に関する法律」に伴い「住居表示整備実験都市」に指定された本市は、昭和 37 年度、まず旧市内の住居表示整備事業に着手し、順次市街地の住居表示整備に努め、平成 6 年度まで 27.876km²にわたり住居表示を実施した。

過去において四日市市は、住民基本台帳上の公称町名、不動産登記簿上の公称町名、自治会を単位とした通称町名が混同され、加えて境界が判然とせず、町界の入り組みも重なって全国でもまれにみる複雑な町界町名を有していた。しかし、住居表示整備事業の進捗とともにこの混乱は解消され、市民の日常生活はもちろん、行政事務にも多大の利便がもたらされている。

なお、平成 24 年度の建物の新・改築等による住居番号の付定件数は 433 件であった。

● 実施状況

全面積比……………13.56%	住居表示方法……………街区方式
全人口比……………38.55%	フロンテージの間隔……15m
全世帯数比………41.82%	
(比率は平成 25 年 3 月 31 日現在)	

実施年度	実施区域	面積	世帯数	実施状況		
				街区数	旧町	新町
37 ～ 39	旧市内、羽津、海蔵、橋北、浜田南部	km ² 5.892	戸 13,961	784	112	58
40	富田、富洲原	3.319	7,228	418	84	20
41	羽津、海蔵、日永	3.393	4,276	295	32	23
42	羽津、内部	1.942	1,326	145	13	10
43	港、浜田、東橋北、羽津	1.984	2,125	220	18	19
44	港、浜田、共同、常磐	2.015	2,598	168	12	16
45	常磐、海蔵	2.405	1,680	156	14	17
46	日永、内部、河原田	3.125	821	85	14	10
47	日永、四郷	1.292	741	129	9	7
48	大矢知	1.660	1,117	132	6	13
52	常磐、神前	0.429	552	65	3	5
53	浜田、常磐、神前	0.413	881	76	6	5
平成 6	常磐(大字松本の一部)	0.007	28	1	-	-
合 計		27.876	37,334	2,674	323	203

※世帯数・街区数は、実施日現在

四日市地域総合会館あさけプラザ

あさけプラザは、四日市市および三重郡の住民が文化・教養・福祉・スポーツ・創作・学習・保健など様々な活動を通じて、連帯と潤いのある生活を創造する広域複合施設である。

また、子どもから高齢者まで幅広い層が利用できる各種の施設機能を持ち“ふれあいと語らいの場”として活用される施設である。

当施設は、昭和56年度に国の提唱する「大規模中核施設」(のちに、「田園都市中核施設」と改称)の整備計画を柱とする広域市町村圏のタウンセンターともいふべき「リージョンプラザ」(＝圏域広場)構想に採択され、57年度に建設に着手し59年7月に完成、同年8月18日にオープンした。

その後、年月の経過とともに、施設・設備の老朽化が目立ち始め、特に老朽化が著しいホールの舞台機構や各施設の空調設備等について、利用者に安全安心、快適に使っていただくため、平成19年度から、計画的に大規模改修工事を実施している。

また、図書館においては、利用者へのサービスの向上を図るため、日本図書館協会への加入や三重県図書館情報ネットワークへの参加をはじめ、平成17年度から、あさけプラザ図書館、市立図書館、楠公民館図書室を図書館情報ネットワークシステムで結び、3館のどの館でも借りられ、どの館でも返却できるようになり、また、インターネットでの予約も開始した。インターネット予約については、年々、利用件数が増加している。

また、当館自主事業についても、時代のニーズに適合した講座を適宜、開催するなど、住民の学習意欲に応えるよう努めている。

● 施設概要

- ・所在地 四日市市下之宮町 296-1
- ・総事業費 約 25 億円(用地費を含む)
- ・竣工 昭和 59 年 7 月 31 日
- ・敷地面積 18,703.69 m²
- ・建築面積 4,679.44 m²
- ・延床面積 6,406.34 m²
- ・構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨コンクリート造、地上2階一部5階建

● 施設

- ・老人福祉施設……………集会室(2室)、浴室
- ・保健衛生施設……………問診室、検診室、身体測定室、機能回復訓練室
- ・図書館、学習室
- ・ホール(326席)
- ・小ホール
- ・展示会議室(5室)
- ・体育館
- ・創作、学習施設……………料理室、美術室、音楽室、陶芸室、茶室
- ・その他……………事務所、あさけコーナー、ロビー、屋外ステージ(中庭)、娯楽談話室、奉仕作業室
- ・屋外施設……………軽運動広場、ゲートボール場、駐車場

● 施設利用状況（平成24年度）

1. 有料施設

区 分	開館日数	開館コマ数	利用コマ数	利用率(%)	利用者数(人)
ホ ー ル	301	879	318	36	28,982
体 育 館	125	374	332	89	15,112
小ホール	302	904	724	80	13,496
展 示 会 議 室	1	302	906	76	18,616
	2	302	906	63	
	3	302	906	69	
	4	302	905	72	18,156
	5	302	904	65	
料 理 室	300	898	436	49	10,490
美 術 室	302	905	694	77	8,948
音 楽 室	302	905	661	73	13,094
陶 芸 室	302	899	358	40	1,807
茶 室	302	905	477	53	3,562
学 習 室	302	302	95	31	1,620
集 会 室	1	302	302	10	307
	2	302	302	6	576
合 計	—	12,102	7,267	60	①134,766

2. 図書館

開館日数	利用者数	学習室等利用者	合 計
295 日	110,362 人	4,723 人	②115,085 人

3. 老人福祉施設

集会室			浴室			合 計
開館日数	利用者数	1日平均	開館日数	利用者数	1日平均	
302 日	12,350 人	41 人	217 件	16,667 人	77 人	③29,017 人

4. 保健衛生施設

区 分	開催回数	利用者数(人)
機 能 回 復 訓 練 事 業	302	21,484
成 人 健 康 相 談 事 業	51	2,757
そ の 他	64	2,870
合 計	417	④ 27,111

● 運動広場

開催回数	利用者数
14	⑤ 986 人

● 高齢者講座

開催回数	利用者数
12	⑥ 346 人

● 屋外ステージ（中庭）・娯楽談話室

開催回数	利用者数
8	⑦ 679 人

$$\textcircled{1}+\textcircled{2}+\textcircled{3}+\textcircled{4}+\textcircled{5}+\textcircled{6}+\textcircled{7}=307,990\text{人}$$

● 全館の状況

※ 貸館の単位は、午前、午後、夜間の3コマに分けて行っているため、
利用率=利用コマ数÷開館コマ数で算出。（小数点以下四捨五入）

※ 学習室と集会室1、2は夜間のみ有料貸し（午前と午後は無料開放施設であり、専用貸しはしていない。）を行っている。

● 平成24年度 あさけプラザ使用料収入額

14,579,490円

楠総合支所

楠総合支所は、平成17年2月7日の四日市市と楠町との合併時の協議に基づき、楠地域の住民に対して、合併後の不安を解消するため、また、これまでの住民サービスの低下を極力最小限にとどめることを目的に設置された。

合併当初は、住民への相談事業とともに、窓口業務などのサービスを引き続き行うほか、楠地区のまちづくり活動の支援や地域振興などの業務を行うため4課体制(振興課、市民福祉課、地域課、楠プラザ)とした。合併に伴う両市町の制度統一のために設けた5年間の経過措置期間が平成21年度末に終了したため、組織機構を見直し、窓口グループ、まちづくりグループから構成される市民文化部所管の1課体制とした。

●楠総合支所の概要

- ・所在地 四日市市楠町北五味塚2060番地72
- ・設置年月日 平成17年2月7日(合併前は楠町役場)
- ・建築年月日 昭和57年10月15日
- ・構造 鉄筋コンクリート造4階建
- ・敷地面積 3,734.04㎡
- ・床面積 2,960.71㎡(厚生棟など附属2棟含む)
- ・施設内容 1F:窓口グループ、まちづくりグループ
2F:会議室、団体事務局など
3F:楠交流施設(貸館施設)など

〔楠公民館〕

- ・所在地 四日市市楠町北五味塚1211番地1
- ・建築年月日 昭和60年4月15日
- ・構造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 2,797.83㎡
- ・床面積 1,715.19㎡
- ・施設内容 1F:事務室、図書室、調理室、創作作業室など
2F:大集会室、研修室、和室、小会議室など

●楠総合支所の業務

〈窓口グループ〉

窓口グループは、住民基本台帳・戸籍関係の手続きと証明の交付などの窓口業務を行うとともに、住民に合併の伴う不安が生じることのないよう、「楠総合支所だより」の発行やホームページによる情報提供など広報の充実に努めるとともに、窓口をはじめとする相談等の広聴活動を行っている。

〈まちづくりグループ〉

・地域審議会

地域審議会は、市町村の合併の特例に関する法律に基づき、合併に対する懸念や不安を払拭するため、合併前の旧楠町の区域に設置され、その主な役割は、新市建設計画の進捗状況等を審議し、必要に応じて市長に対して意見を述べるができるというもので、平成24年度においては地域審議会を2回開催した。

地域審議会の委員は、公共的団体等を代表する委員、事業者を代表する委員、公募による委員、学識経験を有する委員の10名から構成されている。

・地域活動の振興

まちづくり支援事業では、住民が主体となって行う活動や事業に対して助言等の支援を行い、行政とのパイプ役となるよう地域団体との連絡調整に努めている。

楠地区内には、地域の住民が交流する施設があるが、地域社会づくりのために使用される施設の貸館を行っている。

・公共施設の管理

合併後の地域社会づくりを推進するとともに、住民の交流施設として楠福祉会館、楠ふれあいセンターをはじめとする楠地区内の公共施設の管理を行っている。これらの施設は、一部の施設を除き、避難施設に指定されている。

施設名称	所在地	構造	床面積 (㎡)	概要
楠福祉会館 〔指定避難所〕	楠町南五味塚 60	RC造2F 附属1 棟	1,781.50	ホール、会議室、調理室、教養娯楽室、トレーニングルームなど 開設時間：8:30～21:30
楠防災会館 〔指定避難所〕	楠町南五味塚 292-1	RC造3F	521.04	ホール、和室（1Fは消防分団車庫） 開設時間：8:30～21:00
楠避難会館 〔指定避難所〕	楠町南五味塚 600-1	RC造2F	291.84	ホール、和室 開設時間：8:30～21:00
楠ふれあいセンター	楠町北五味塚 1452-1	S造1F	1,102.16	多目的室、ふれあい室、創作室、足湯、リラックルームなど 開設時間：8:30～21:00
楠保健福祉センター 〔指定避難所〕	楠町北五味塚 1450-1	RC造2F 附属1 棟	1,805.04	1F:四日市市社会福祉協議会 2F:母子保健、成人検診、がん検診事業で使用
楠交流施設 (楠総合支所 3F) 〔指定避難所〕	楠町北五味塚 2060-72	RC造4F	720.61	大会議室、会議室1・2、研修室

※平成24年度 利用者数

(単位：人)

楠福祉会館	楠防災会館	楠避難会館	楠ふれあいセンター	楠保健福祉センター (在宅介護支援サービス、母子保健、がん検診で使用)	楠交流施設 (楠総合支所 3F)
44,732	3,934	2,970	58,395	2,885	7,020

〈楠公民館〉

公民館講座を通じて、生涯学習を推進するため、年齢層に応じた教養、歴史・文化講座、パソコン講座などを開催した。また、成人や子どもを対象とした多彩な講座等を開催し、住民自らが学ぶ力を育てるため、サークル活動の支援に努めた。

公民館図書室については、利用者のリクエストなどを参考に、図書購入を図るとともに、定期的に絵本の読み聞かせやおはなし会を開催するなど、本に親しむための機会を提供する事業を行った。

平成24年度

楠公民館利用状況

利用件数	利用者数
888 件	18,318 人

楠公民館図書室利用状況

蔵書総数	利用者数	貸出冊数
54,666 冊	27,695 人	129,805 冊

「よみきかせ」開催状況

読み聞かせ (49 回)	おはなし会 (14 回)
582 人	178 人

(公財) 四日市市文化まちづくり財団

四日市市が100%出捐した財団法人四日市市文化振興財団、財団法人四日市国際交流協会、財団法人四日市市都市整備公社及び財団法人霞ヶ浦振興公社の4法人の解散を受けて、4法人の事業を発展的に継承し、「みんなが誇りを持てるまち、四日市」の実現に向けて四日市市のまちづくりの一翼を担い、財団運営の機動性や弾力性を活かした効率的かつ安定的なサービスを行うとともに、行政や市民等との連携・協働を図るといった役割と使命を掲げて、平成20年4月1日に「財団法人四日市市まちづくり振興事業団」として設立されました。

公益法人制度改革に伴い、平成25年4月1日に公益認定を受け、名称を「公益財団法人四日市市文化まちづくり財団」に変更しました。

◆組織

- ・名称 公益財団法人 四日市市文化まちづくり財団
- ・所在地 四日市市本町9番8号 本町プラザ内
- ・基本財産 2億円（全額を四日市市が出捐）
- ・体制 別図のとおり（V-8ページ）

◆事業の概要

I 文化・芸術の振興に関する事業

四日市市文化会館及び茶室「洒翠庵」の指定管理者として、四日市市文化振興ビジョンを踏まえ、「市民とともに作る市民のための文化会館」「日本の伝統文化を楽しめる茶室」を目標に掲げ事業を実施しています。施設管理運營業務については、安全で安心な施設環境を確保した上で、利用者ニーズに対応できる貸館方法の工夫を図りサービスの向上に努めています。

●文化振興事業（平成24年度）

◎ 次代を担う人材の育成・支援

- ・ 学び舎音楽会 小学校14校、中学校2校で開催
- ・ 三四小学校音楽会支援事業
- ・ 市民参加型事業
四日市市民ミュージカル「レイル・ドリーム」、ニューイヤーコンサート
- ・ 第28回四日市文芸賞
- ・ 青少年のための芸術鑑賞機会の充実
名古屋フィルハーモニー交響楽団with森麻季コンサート、劇団四季「こころの劇場」
- ・ オペラワークショップ
- ・ よっかいち文芸講演会

◎ 優れた芸術文化を鑑賞する機会の確保

- ・ NHK交響楽団演奏会
- ・ 宝塚歌劇星組公演
- ・ Ms.OOJAコンサート など計16事業

◎ 四日市の個性を生かした事業

- ・ 財団ミニギャラリー 「こねっこ三人展」 など4回実施
- ・ 萬古展示 「萬古不易 萬古焼の長い道～萬古の美・萬古の技～」の2回実施
- ・ 萬古陶芸作家作品でお茶を楽しむ 2回実施
- ・ 四日市市出身者顕彰事業

三重映画フェスティバルin四日市、落語のまち・四日市特別企画「第9回文治まつり」

◎ 文化を創造する環境づくりのための事業

- ・ まちかどコンサート 近鉄四日市駅周辺で4回開催
- ・ 企画展示「四日市鉄道物語」
- ・ こどもフェスティバル
- ・ 四日市JAZZフェスティバル
- ・ ワンコインコンサート 「平野花子ハープコンサート」など4回実施
- ・ よんぶんセミナー 「能楽セミナー」「美術セミナー」

◎ 文化情報の発信

- ・ 文化展望 四日市「ラ・ソージュ」第30号発刊
- ・ 「催物ごあんない」 毎月発行 (組回覧)
- ・ ホームページの拡充
- ・ 地元メディアによる発信 FMよっかいち「アムリタイム」

◎ 伝統文化の普及と啓発事業(茶室「泗翠庵」事業)

- ・ 茶道体験講座 表千家・裏千家・松尾流・遠州流の4流派交替で8回実施
- ・ 茶道特別講座 「伊勢茶のおいしい入れ方」など5回実施
- ・ その他 春の無料呈茶

◎ アウトリーチ事業

- ・ あげぼの学園・北勢きらら学園「ミュージックベル・パルフェ」コンサート

◎ 文化会館開館30周年記念広報紙作成(四日市市受託事業)

◎ 経営力の強化

- ・ 文化事業支援システム「カルチャーサポートシステム」
- ・ 文化会館友の会「楽人くらぶ」運営事業

II 国際交流・多文化共生の推進に関する事業

諸外国との相互理解と友好親善を深め、外国人にも住みやすい「世界に開かれたまち四日市」の実現を目指して、市民参加型の幅広い国際交流や国際理解の推進に関する事業を行っています。また、多文化共生社会の実現を目指す四日市市の方針に沿って、その基盤づくりに貢献する事業を実施しています。

● 賛助会員制度

地域の活動の輪を広げ、より広範囲に有益な国際交流事業を運営し、事業及び運営資金面への支援を得るため、事業の趣旨に賛同する個人、団体による賛助会員制度を設けています。

会費(年間) 個人一口 3,000円 団体一口 10,000円

● ボランティア制度

市民の国際交流活動を活発にするとともに、国際意識と国際理解を醸成するため、市民の協力による通訳等下記のボランティア活動を行うことを目的として、ボランティア制度を設けています。

- (1) 日本語指導
- (2) 通訳・翻訳
- (3) ホームステイ、ホームビジットの受け入れ
- (4) 日本文化紹介
- (5) イベント補助

● 主な事業（平成24年度）

◎ 諸外国との相互理解と友好親善の促進

・ 国際交流イベント

Coffee Break（外国語による国の紹介）、国際理解講座（ブラジル・ネパール・マレーシア）、日本文化探訪（ゆかたと英語落語・和菓子作り・新春茶会）、世界のレストラン（韓国・中国・日本）、日本語学習成果発表会等

- ・ 外国語講座 英語、スペイン語、中国語等計 22 講座
- ・ 姉妹都市米国ロングビーチ市への交換学生・教師(トリオ)派遣…四日市市受託事業

◎ 多文化共生社会の基盤づくりの取り組み

- ・ 日本語サークル
- ・ 外国人のための行政相談
- ・ 生活・案内相談
- ・ 四日市市国際共生サロンの管理運営（指定管理施設）

◎ 市民参加の幅広い交流活動の推進

- ・ ボランティア活動の推進 …ボランティア活動に対する支援・協力及び研修会実施等
- ・ 他団体との協力・連携・助成…視察、体験学習の受入、NPO団体と相互協力
- ・ 広報活動と情報の提供 …機関紙発行、海外雑誌、新聞等の閲覧提供、ホームページ

III スポーツ及びレクリエーションの増進に関する事業

市民に身近で安価な親しみやすく、利用しやすいレジャー施設を提供するとともに、安全性の確保に努めています。

● 主な施設の概要

1. 伊坂ダムサイクルパーク

(1) 概要

① サイクリングコース

- ・ 竣工 昭和53年7月29日
- ・ 建設費 77,389千円（財源内訳）日本自転車振興会補助金 23,900千円
年金福祉事業団(当時)借入金 53,000千円
自己資金 489千円
- ・ 施設内容 サイクリングコース 全長9km 休憩所6棟 フェンス 標識等
自転車格納庫 伊坂ダム215.2㎡ 山村ダム79.5㎡
自転車保有台数 116台(平成25年4月現在)
〈一般車104台(子供用、かご付等含む) タンデム車12台〉

②サイクル広場

- ・竣工 平成5年3月25日
- ・建設費 104,438千円(財源内訳) 日本自転車振興会補助金 37,510千円
年金福祉事業団(当時)借入金 39,200千円
自己資金 27,728千円
- ・施設内容 モトクロス自転車コース 全長 200m
変わり種自転車コース 全長 470m
管理棟兼自転車格納庫 197.5 m²
自転車保有台数 59台(平成25年4月現在)
〈マウンテンバイク 25台 変わり種 28台 一輪車 6台〉

③その他

- ログハウス(サイクルパーク管理事務所) 149.1 m²
 - ・竣工 平成4年3月31日
 - ・建設費 35,000千円
 - ・施設内容 休憩室 自転車格納庫 トイレ 事務所 倉庫
- チビッコカー乗り場及びレストコーナー
 - ・竣工 平成6年3月25日
 - ・建設費 16,830千円
 - ・施設内容 チビッコカー乗り場 528.2 m² レストコーナー 321.3 m²

(2)利用状況

(単位:人)

年 度	サイクリングコース	サイクル広場	チビッコカー
平成 22 年度	13,793	17,301	7,391
平成 23 年度	13,001	17,086	7,520
平成 24 年度	13,426	16,592	6,731

2. 四日市スポーツランド

(1)概要

①アスレチックコース

- ・竣工 昭和54年7月29日
- ・建設費 91,925千円 (財源内訳) 日本宝くじ協会補助金 33,000千円
年金福祉事業団(当時)借入金 57,300千円
市補助金 1,625千円
- ・施設内容 アスレチックコース 全長 1.2 km 遊具 29基(平成25年4月現在)
管理棟 134.6 m² トイレ 駐車場約 200台

②高岡山周辺施設

- ・竣工 昭和59年3月3日
- ・建設費 226,850千円 (財源内訳) 雇用促進事業団(当時)建設分 150,000千円
年金福祉事業団(当時)借入金 44,800千円
自己資金 32,050千円

- ・施設内容 センターハウス 710 m²
 スーパースライダー 全長 150m
 大型トリム 高さ 6m
 ローラースケート場 1周 100m
 デーキャンプ場 713 m²
 芝生広場 多目的広場 修景池 トイレ あずまや等

③その他

- FRP製恐竜遊具 3体(ディメトロドン トリケラトプス プラテオザウルス)
- ジャンピングシーソー 4基 ちびっこプール 100 m²
- チビッコカー広場 センターハウス内自然観察展示コーナー
- サイクリングコース 自転車格納庫
- 自転車 47台(平成 25年 4月現在)
- 〈一般車 9台(婦人用、子供用) マウンテンバイク 38台〉

(2)利用状況

(単位:人)

年 度	サイクリングコース	アスレチックコース	スーパースライダー	ローラースケート場
平成 22 年度	627	27,714	20,262	3,441
平成 23 年度	687	26,888	18,924	3,247
平成 24 年度	641	30,959	23,614	3,244

年 度	デーキャンプ場	ちびっこプール	チビッコカー
平成 22 年度	6,237	1,204	6,455
平成 23 年度	5,865	1,250	6,370
平成 24 年度	7,088	1,140	5,082

IV 都市施設の管理及び都市環境の維持保全に関する事業

指定管理者として指定された施設、また、その他四日市市からの受託事業についても、効率的な管理及び快適な市民サービスの提供に努めています。

また、財団の施設である賃貸住宅・賃貸店舗の管理運営と各団地内等の月極駐車場の管理運営を行っています。

◎都市施設の管理事業

●指定管理施設

- ・四日市市市民交流会館の管理運営
- ・四日市市総合会館集会施設の管理運営

●受託管理施設

- ・四日市市視聴覚センター貸館業務
- ・四日市市本町プラザ管理

- ・旧(株)三重ソフトウェアセンター社屋管理
- ・オーストラリア記念館の管理運営

●自主管理施設

- ・賃貸住宅管理運営(坂部団地 31 戸)
- ・賃貸店舗管理運営(三重団地 19 戸)

●駐車場管理事業

- ・月極駐車場管理運営(坂部団地 38 台、三重団地 32 台、あさけ団地 19 台、桜台団地 57 台)
- ・近鉄湯の山線高架下月極駐車場管理 (58 台)
- ・国道 23 号高架下駐車場管理 (311 台)

◎都市環境の維持保全

●緑地管理事業

- ・伊坂、山村貯水池周辺緑地管理

V 四日市市及び市民等と連携・協働したまちづくりに関する事業

◎四日市市からの事務受託事業、自主事業の推進

- ・防犯外灯新設維持費補助金交付事業

◎まちづくり関係事業団体との連携支援

関連事業団体の運営支援や連携を図り、まちづくりの幅広い展開や事業の相乗効果を高めるため、四日市市土地開発公社及び公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センターへの人的支援等について連携を図っています。

VI 霞ヶ浦会館の活用に関する事業

◎霞ヶ浦会館の運営管理

霞ヶ浦緑地諸運動施設利用者の合宿及び競輪参加選手の宿泊に供するとともに、広く各種団体及び企業等の宿泊研修、会議の場として地域振興に努めています。

[平成 24 年度の主な利用状況]

- ①競輪参加選手の宿泊 (年間延宿泊者数 5,769 人／前年度実績 6,082 人)
- ②各種団体の宿泊研修 (年間延宿泊者数 3,119 人／前年度実績 2,512 人)

◎霞ヶ浦会館の活用による市民活動の交流推進

- ・市民のコミュニティ活動の推進

大ホール、レッスンホール、会議室等を利用して、市民の余暇活動及びコミュニティ活動の場として提供しています。

- ・教育文化の向上

視聴覚施設を有する大ホールにおいて、各種講演会、研修会等での利用を促し、教育・文化の向上に資するため利用促進を図っています。

[平成24年度の主な利用状況]

大ホール、会議室、和室、レッスンホールの利用

(年間利用件数 165件／前年度実績 198件)

◎四日市競輪場施設の管理運営業務の受託に関する事業

四日市市が実施する競輪事業の安全管理業務を受託実施しています。

公益財団法人四日市市文化まちづくり財団 組織体系図(平成25年4月1日現在)

